

倉吉市

校務DX推進計画

1. 計画の目的

本計画は、「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や、「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」に基づく自己点検結果を踏まえ、倉吉市の教育委員会および学校における教育DXの推進を目的とする。特に、校務の効率化・ペーパーレス化を促進し、次世代の校務システムへの円滑な移行を実現する。

2. 現状と課題

(1) 自己点検結果の分析

- 「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト（学校向け）」自治体別達成状況において、鳥取県全域の平均得点は 402.3点、倉吉市の得点は 394.1点
- 「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト（学校設置者向け）」自治体別達成状況において、鳥取県平均の得点は 319.8点、倉吉市の得点は 310.0点
(令和6年12月26日付け6初情教第10号「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」に基づく自己点検のフォローアップの実施結果（速報値）より)

(2) 課題

- 校務におけるクラウドツールの導入は学校内での教職員間の情報共有ではかなり活用が進んできているが、保護者との連絡や文章配布等については紙媒体に依存しているケースが多く残っている。
- 提出書類についての電子化や押印廃止に取り組んでいるが、十分ではない。
- 研修や会議のオンライン化が進んでいるが、完全なオンライン化には至っていない。

3. 解決策と施策

- FAXと押印については、一部の文書を除いて、廃止するよう見直しを行う。
- 教職員間の情報共有、保護者との連絡、アンケート等をクラウドサービスへ移行。
- オンライン会議や研修を積極的に導入し、校務DXの推進を支援。

4. まとめ

倉吉市では、本計画に基づき、校務DXの推進を加速し、次世代の校務環境の実現を目指す。教育委員会と学校が一体となり、また県教育委員会とも協力しながらDX化を推進することで、より良い教育環境の提供を目標とする。